

第1回山形新幹線米沢トンネル（仮称）整備スキーム検討会議
議事概要

【日 時】令和7年10月29日（水）10：00～11：30

【場 所】都道府県会館408会議室（東京都千代田区平河町2-6-3）

※WEB会議併用

【出席者】出席者名簿参照

【議事概要】

○米沢トンネル（仮称）整備計画の概要、整備に関するスケジュールや費用負担想定等について、県やJR東日本から説明を行った上で、会議の検討事項として、
①事業費やスケジュール等の整備計画と、②整備主体、費用負担、必要な予算・税制・制度等の整備スキームの2点について検討を行っていくことを確認した。

○委員からは、

- ① 整備計画（事業費、工期、スペック、工法、スケジュール等）について
 - ・ 約2,300億円という事業費や、着工から約19年という工期について、工法等の精査により圧縮できないか。
 - ・ 着工までのプロセスである設計や環境アセスメントに必要な期間について、短縮を検討できないか。
 - ② 整備スキーム（整備主体、費用負担、必要な予算・税制・制度等）について
 - ・ 地方財政措置も含めて、地方負担を軽減する措置を検討すべき。
 - ・ 予算だけでなく、財政投融資、税制、運賃・料金制度等も含め、幹線鉄道の機能強化を進めるための制度を考える必要がある。
 - ・ JRが費用負担額として想定する受益の範囲についても精査を行うべき。
- 等の意見があった。